

2020年6月5日

飛沫抑制と熱中症対策のためのフェイスカバリングを全現場に導入 ー 現場従事者の命と暮らしを守り、感染拡大防止と事業継続に向けた取り組み ー

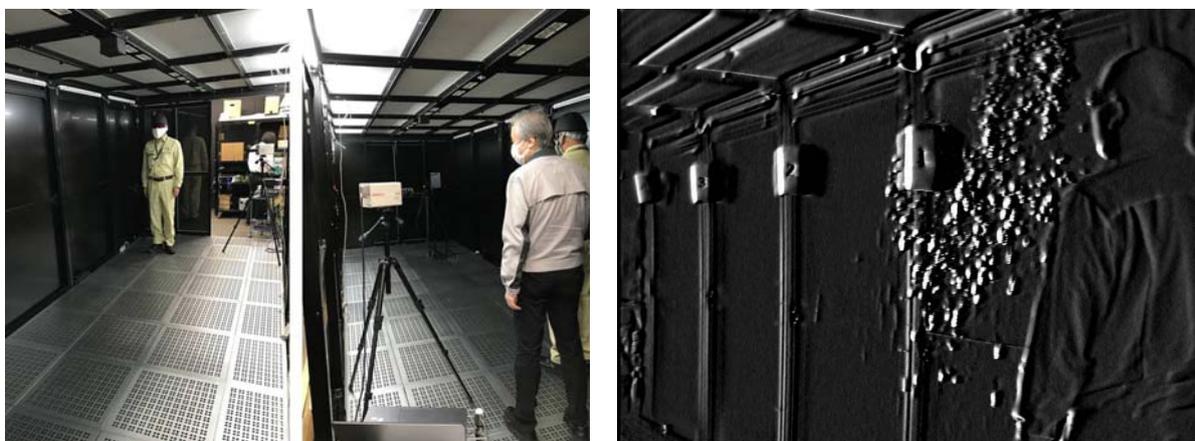
三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）は、熱中症リスクを低減し、飛沫発生を効果的に抑制できるフェイスカバリングを全現場で導入します。

当社では、新型コロナウイルス感染症対策として社長を責任者とする緊急対策本部を設置して感染拡大防止に取り組んでいます。5月4日に厚生労働省が公表した「新しい生活様式」においてマスク着用が推奨され、業務中は飛沫抑制に優れた不織布マスクの着用を義務付けていますが、夏季における屋外作業でのマスク着用は熱中症の発生リスクにつながります。

そこで、新日本空調株式会社の協力のもと、身近な材料を用いて効果的に飛沫を抑えるフェイスカバリングを、同社の微粒子可視化システム（ViEST）にて4月末より検証しました。様々な形状・素材・寸法・装着方法の実証実験を行い、現場に試験導入して効果を確認しました。このたび現場作業時の使用に目途をつけ、今後、現場に従事する当社社員および協力会社作業員の約2万人に順次配布していきます。



【全現場に導入するフェイスカバリング】



【微粒子可視化システムを用いた実証実験の様子】

当社では、新型コロナウイルス感染症を当社グループの経営全般に重大な悪影響を及ぼす可能性がある危機として位置付け、「役職員、家族、関係者の命と暮らしを守ることを前提として、感染拡大の防止に向け、取り得る施策を最大限実施し、事業を継続する」との基本方針のもと、感染拡大の防止に引き続き取り組んでまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

Email:information@smcon.co.jp

以 上